

■12月4日

スターフライヤー、10月度利用実績、国内線利用率69.7%、国際線54.9%

スターフライヤーは12月2日、10月の旅客利用実績を発表した。

これによると、国内線3路線合計の搭乗者数は150,080人で前年比51.1%増加した(供給は61.4%増)。利用率は65.7%と、前年比5ポイント減少した。

路線数を倍増した福岡—羽田線の搭乗率は66.1%と、前年同月10.5ポイント下回った。

一方、来春の運休を発表している国際線の北九州—釜山線搭乗者数は100078人で利用率は56.4%だった。

(スターフライヤープレスリリース)10/31

<http://contents.xi-storage.jp/contents/92060/T/PDF-GENERAL/140120131031049528.pdf> (-> <http://contents.xi-storage.jp/contents/92060/T/PDF-GENERAL/140120131031049528.pdf>)

* スターフライヤーHPより

1. 利用実績

国内線	提供座席数(席)		旅客数(人)		利用率(%)	
		前年比(%)		前年比(%)		前年比(%)
北九州—羽田線	87,866	101.5	59,308	101.6	67.5	0.1
福岡—羽田線	90,978	200.0	60,172	172.6	66.1	△10.5
羽田—関空線	12,724	134.0	10,194	167.3	80.1	15.9
福岡—関空線	36,864	—	20,406	—	55.4	—
全路線合計	228,432	161.4	150,080	151.1	65.7	△4.5
国際線	提供座席数(席)		旅客数(人)		利用率(%)	
		前年比(%)		前年比(%)		前年比(%)
北九州—釜山線	17,856	99.6	10,078	124.3	56.4	11.2

※ 利用率は、有償旅客数/提供座席数で算出しております。

中華航空・高雄市、高雄—熊本、定期チャーター便計画

台湾・高雄市の旅行会社と中華航空が来年6月にも、高雄から熊本への定期チャーター便を就航させる方向で検討していることが2日、分かった。

くまにちコムによると、高雄市にある富康旅行社の謝明秀社長が熊本日日新聞社の取材に対し、「6月からは間違いなが、早ければ2月にも前倒ししたい。週3便で計1万人は確実に超える規模になる」と話した。一方、中華航空高雄支店は「定期チャーター便を予定しているのは事実だが、本社が機材をどこに振り向けるか現時点で決定していない。需要の動向も見守る必要がある」としている。

県は台湾との航空定期便実現に向け、昨年から台湾側と協議。今年8月23日からは高雄市からの連続チャーター便が運航し、12月1日までに25往復、約2600人が来航し、搭乗率は95%ほどい達していた。

(くまにち)6/7

<http://kumanichi.com/news/local/main/20131203002.shtml> (-> <http://kumanichi.com/news/local/main/20131203002.shtml>)

岩国空港、開港から一年を前に需要予測35万人達成

昨年12月13日に開港した岩国錦帯橋空港の利用者数が3日、国交省の年間の需要予測35万人を超えたことが分かった。

国土交通省は岩国空港の事業着手に当たり、2009年度に需要予測をしていて、供用開始初年度の利用者数を35万

人としていた。

同空港では、全日空が羽田線を1日4往復運航している。同社山口支店によると、開港から今年11月末までの平均搭乗率(速報値)は73・1%(岩国発74・6%、羽田発71・7%)。3月以降は毎月70%を超える好調ぶり、搭乗者数は3月末に10万人、10月中旬に30万人を突破した。

(日テレ)12/3

<http://news24.jp/nnn/news8704271.html> (-> <http://news24.jp/nnn/news8704271.html>)

(読売新聞)12/4

<http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/yamaguchi/news/20131203-OYT8T01455.htm> (-> <http://www.yomiuri.co.jp/e-japan/yamaguchi/news/20131203-OYT8T01455.htm>)

(->)

日航、成田—フランクフルト線、スカイスイート777を投入、来年4月から

日航は3日、2014年4月から、成田—フランクフルト線に新座席を搭載したボーイングB777-300ER型機「SKY SUITE 777(スカイスイート777)」を導入すると発表した。スカイスイート777は2012年9月に発表後、成田／ロンドン、ニューヨーク、パリ、ロサンゼルス線で運航している。

座席仕様は、ファーストクラス8席、ビジネスクラス49席、プレミアムクラス40席、エコノミークラスが135席または147席。日航は、「ひとクラス上の最高品質」をテーマに掲げ、全クラスで居住性・機能性を大きく進化させた、「SKY SUITE 777」は、2013年度「グッドデザイン賞」やSKYTRAX社による「ベスト・ビジネスクラス・エアラインシート」賞などを受賞している。

(トラベルビジョン)12/3

<http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59802> (-> <http://www.travelvision.jp/news/detail.php?id=59802>)

(JALプレスリリース)12/3

<http://press.jal.co.jp/ja/release/201312/002743.html> (-> <http://press.jal.co.jp/ja/release/201312/002743.html>)